

6月8日はロボット掃除機『ルンバの日』

約8割の主婦が時間不足、2人に1人が時短を取り入れたいと回答するも時短商品を使いこなす“ハイテク時短主婦”は2割にとどまる

アイロボット日本総代理店セールス・オンデマンド株式会社(本社：東京都新宿区 / 代表取締役社長 室崎 肇 以下、セールス・オンデマンド)は、日本でも浸透しつつある“ロボット掃除機”の魅力や正しい知識を多くの人に知ってもらう目的で、“ロボット掃除機”の代表ブランドであるルンバにちなみ、6と0と8で「ル(6)ン(0)バ(8)」と読む語呂合わせから、一般社団法人日本記念日協会より認定を受け、6月8日をロボット掃除機「ルンバの日」に制定しました。



セールス・オンデマンドが事前におこなった調査によると、主婦が1回あたりに掃除機をかける平均時間は約20分であることがわかりました。この掃除機がけをする20分をロボット掃除機に置き換えて年間換算すると、約5日分の時間を創出することができます。

そこで、家事・育児・仕事に忙しい主婦が、家事にかかる時間をどのように考え、工夫をしているのか、“時短”の実態について全国の既婚女性600人に聞きました。

今回の調査結果の概要は下記となります。

【主な調査結果トピックス】

- ▼ 約8割の主婦が日頃時間が足りないと回答！
- ▼ 日常の家事に“時短”を取り入れたいと回答する主婦は約2人に1人
 - 一方、これまでに時短商品やサービスを導入経験したことのある主婦は2割未満
 - ・ 家事で短縮した時間を使って、趣味や子供と過ごす時間に費やしたい主婦多数
 - ・ 主婦が実際に時短できている平均時間は約14分。理想とするのはその5倍の約70分
- ▼ “時短”のコツは2つ以上の家事を同時並行させる“ながら家事”
 - ・ 家事をロボットに任せられるなら、取り入れたいジャンル No.1 は掃除

まずはじめに、日常における時間について聞いたところ、主婦の約 8 割が「時間が足りない」と感じていることが分かりました。

また、「日常の家事に“時短”を取り入れたいか」との問いには、約 2 人に 1 人が「取り入れたい」と回答する一方で、これまでに“時短”がうたわれた商品やサービスを導入した経験については、84.0%の主婦が「ない」と回答したことが分かりました。

“時短”を取り入れたいとは考えつつも、日々家事に追われ、どのように“時短”商材を取り込んでいけば良いのかを模索している主婦が多数いることがうかがえます。主婦が家事を工夫し、実際に時短できている平均時間は、約 14 分であることが判明しました。一方、主婦が憧れとする理想像では、平均 70 分とその 5 倍の 1 時間を超える“時短”を理想としていることがうかがえました。

時間がないと感じながらも、うまく時短商品を使いこなし、効率的に家事ができる理想の「ハイテク時短主婦」は 2 割にとどまり、時短に対する理想と現実の乖離があることがわかりました。

さらに、「日頃の家事の中で取り入れている“時短”ができる工夫」についても聞いてみたところ、洗濯しながら掃除をするなど、2 つ以上の家事を同時並行する“ながら家事”主婦が多く見られました。

最後に、家事をロボットに丸ごと置き換えることができるなら、積極的に取り入れたいカテゴリーを聞いたところ、掃除が最も高く 29.5%、次に料理で 25.0%との回答が得られました。

<調査結果概要>

【調査概要】

調査エリア: 全国

調査対象者: 20~59 歳の既婚女性

サンプル数: 600

調査期間: 2015 年 5 月 23 日~5 月 24 日

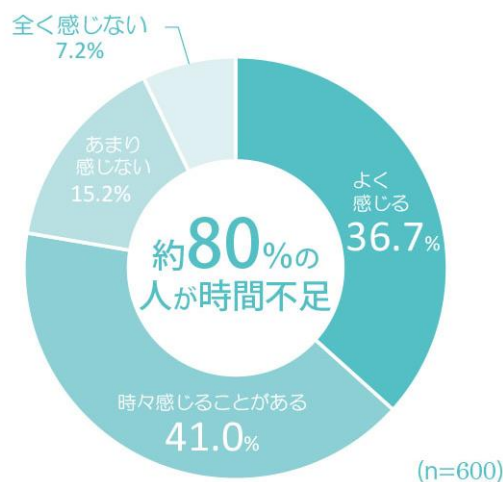
調査方法: インターネットリサーチ

* 本資料に含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず『セールス・オンデマンド調べ』と明記下さい。

■ 約 8 割の主婦が日頃時間が足りないと回答！

日頃「時間が足りない」や「もっと自由な時間がほしい」と感じることはありますか。との質問には主婦の 77.7%が「時間が足りない」と感じていることが分かりました。特に子育てに時間がかかる 20 代~30 代ではその値が最も高いことがわかりました。

◆ 日頃「時間が足りない」や「もっと自由な時間がほしい」と感じることはありますか？



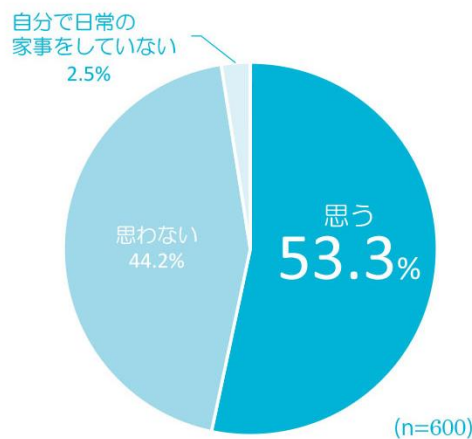
- 日常の家事に“時短”を取り入れたいと回答する主婦は約 2 人に 1 人
 - 一方、これまでに時短商品やサービスを導入経験したことのある主婦は 2 割未満
 - ・家事で短縮した時間を使って、趣味や子供と過ごす時間に費やしたい主婦多数
 - ・主婦が実際に時短できている平均時間は約 14 分。理想とするのはその 5 倍の約 70 分

「日常の家事に“時短”を取り入れたいと思いますか。」との問いには、約 2 人に 1 人が取り入れたいと回答しました。取り入れたい理由としては、「自分の時間が欲しい」や「趣味の時間に費やしたい」などの回答の他に、「子供と遊ぶ時間に充てたい」との回答が得られました。

一方で、「これまでに“時短”がうたわれた商品やサービスを導入した経験はありますか。」との問いには、84.0%の主婦が「ない」と回答したことが分かりました。「ある」と回答した主婦では、その約 6 割が“時短”効果を感じていると回答し、時短商品の導入は実際の効果を生んでいるようです。主な時短商品を聞いたところ、すすぎが 1 回で出来る洗濯洗剤の使用や圧力鍋などと回答する主婦が多数みられました。

家事を工夫し、“時短”を取り入れた結果、実感できる時間を聞いたところ、1 日平均 14 分であることが分かりました。また、「憧れる理想の主婦像では、1 日あたりどれくらいの“時短”ができる人をイメージしますか」との質問ではその 5 倍の 1 時間以上の約 70 分であることが判明し、主婦がいかに多くの時間を短縮したいと考えているかがうかがえました。

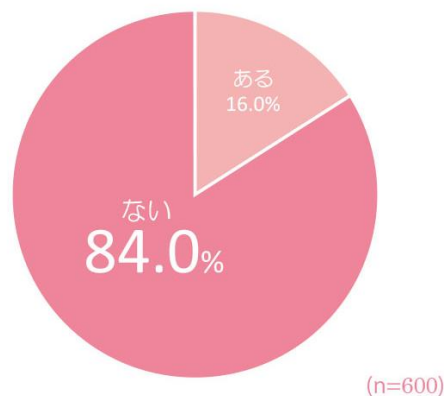
◆あなたは日常の家事に“時短”を取り入れたいと思いますか？「思う」と回答された方は、そのように思う理由を教えてください。



《主な自由回答》

- ・自分の時間や趣味の時間に充てたいから
- ・育児や子どもと接する時間を増やしたいから
- ・効率的に時間を使いたいから

◆これまでに“時短”がうたわれた商品やサービスを導入した経験はありますか？「ある」と回答された方はどのようなものか教えてください。



《主な自由回答》

- ・すすぎが 1 回で出来る洗濯洗剤を使用
- ・シリコンスチーマーや電子レンジを使用した調理方法
- ・圧力鍋を使用し、煮込み時間を短縮

■ “時短”のコツは2つ以上の家事を同時並行させる“ながら家事”

・家事をロボットに任せられるなら、取り入れたいジャンル No.1 は掃除

「日頃の家事の中で取り入れている“時短”ができる工夫」についても聞いてみたところ、洗濯しながら掃除をするなど家事を同時並行する“ながら家事”主婦が多くみられました。また、日々コツコツと掃除をすることで、まとまった時間を使用しない“コツコツ家事”をあげる主婦もいました。

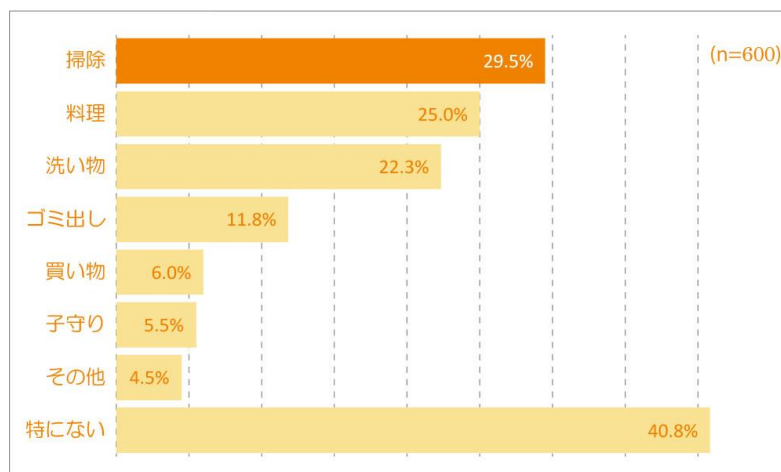
「家事の中で、ロボットに丸ごと置き換えることができるなら、積極的に取り入れたいと思うカテゴリー」を聞いたところ、「苦手だから」との回答や「一番時間がかかる」、「一番労力がかかる」などの理由により「掃除」を挙げた主婦が 29.5%、次に「料理」で 25.0%との回答が得られました。

◆あなたが日頃の家事の中で取り入れている“時短”ができる工夫があれば教えてください。

《主な自由回答》

- ・ テレビを見ながら洗濯物をたたむ。
- ・ 常備菜やおかずのストックをつかっておく。
- ・ ロボット掃除機をかけながら、自分はキッチンで料理をつくるなど、家事の同時進行。
- ・ 毎日こまめに掃除をする事で、大きな汚れにはならず時短につながる。

◆家事の中で、ロボットに丸ごと置き換えることができるなら、積極的に取り入れたいと思うカテゴリーとその理由を挙げてください。



《主な自由回答》

- ・ 掃除が苦手だから
- ・ 一番時間がかかっているように感じる、やり始めると長くなるから
- ・ ロボットの方が几帳面な気がするから

■ 6月8日 ロボット掃除機『ルンバの日』

記念日の由来: 家庭用のロボットを世界で1300万台以上売り上げる“ロボット掃除機”のパイオニアブランドであるアイロボット社の日本総代理店セールス・オンデマンドが制定。日本でも浸透しつつある“ロボット掃除機”の魅力や正しい知識を多くの人に知ってもらうのが目的。“ロボット掃除機”の代表ブランドであるルンバにちなんで、6と0と8で「ル(6)ン(0)バ(8)」と読む語呂合わせから「ルンバの日」として登録。

■ ルンバで1年を370日にしよう! 「for Family, +5days キャンペーン」実施中

実施期間 : 2015年6月3日(水) ~ 2015年7月26日(日)

実施内容 : キャンペーンサイトよりご応募いただいた方の中から抽選で、ハワイ旅行(3泊5日)を2組8名様にプレゼントいたします

応募方法 : アイロボット ルンバ公式キャンペーンサイト(<http://www.irobot-jp.com/campaign/plus5days/>)より必要事項を記入のうえ、応募してください

発表方法 : 厳正なる抽選のうえ、当選者への連絡をもって発表にかえさせていただきます

キャンペーン URL : <http://www.irobot-jp.com/campaign/plus5days/>

● 米国 アイロボット社について



アイロボット社 CEO コリン・アングル

アイロボット社は、米国マサチューセッツ工科大学(MIT)で最先端の人工知能研究を進めていた科学者3人によって1990年に創立されたロボット産業のリーディングカンパニーです。以来、20年以上にわたり、世界のロボット業界を牽引しています。

研究者やエンジニアなど、ロボット工学におけるスペシャリストたちが所属する世界規模の企業として認められています。

「人の命や尊厳に関わる3D = Dull, Dirty, Dangerous (退屈、不衛生、危険)な仕事から人々を解放する」という思想のもと、実用的なロボットを開発しています。アイロボット社のロボットは人命救助やピラミッド発掘現場、海洋調査など、世界中で活躍しています。

この高い技術を転用してルンバなどの家庭用ロボットが開発されています。



床拭きロボット ブラーバ

<床拭きロボット ブラーバ>

ブラーバはボタン一つ押すだけで、人間に代わってお部屋を隅々まで拭き掃除してくれる床拭きロボットです。水拭きとから拭き、2つの清掃モードを選択し、手軽に拭き掃除をすることが可能です。また、「NorthStar™(ノースター)ナビゲーションシステム」の搭載により、ブラーバ自身が、正確な位置情報を把握することができるため、お部屋中をくまなく動き、拭き掃除に最適な清掃動作を実現しています。

● セールス・オンデマンド株式会社について

セールス・オンデマンド株式会社は、2004年設立以来、米国アイロボット社の日本総代理店として「ロボット掃除機 ルンバ」の輸入・販売・サポートを行い、ルンバをベストセラー商品に育てあげました。また、2010年よりスウェーデン ブルーエア社「ブルーエア空気清浄機」を、2014年6月からは米国ロモティブ社「エデュケーショナルロボット ロモ」の輸入販売にも事業を拡大。

「発見・発創・発動で新たな価値を創造し、人や社会に『これ、いい!』を提供する」をビジョンに掲げ事業に取り組んでおります。

※ iRobot、iRobotロゴ、アイロボット、ルンバ、ブラーバ、NorthStarはアイロボット社の登録商標または商標です。